新京日日新聞
夕刊
十一月七日(火)
發行所 新京日日新聞社

過爐銀の流通高 實に二千万元
財界の前途憂慮さる

〔營口六日發國通〕既報の如く當地に於ける過爐銀は全く危機に瀕し之が建直しの爲當地總商會長王委梁氏は目下新京に於て、財政部と救濟金二百五十萬元の借入交渉をなしてゐるが今日迄歸營せず、その交渉經過に關しては種々憶測されて居りその成否の如何は極めて重要視されてゐる、尚ほ過爐銀は現在に於ては殆ど使用されず商取引上左程不便はないが二千萬元に達する過爐銀の流通が杜絶すれば、當地財界の打撃は尠からざるものあり、右財界動搖防止の爲に過爐銀の整理、國幣への統一を前提として何等かの方法に依り財的援助を受けるより外に途なしと觀られてゐる

ソ聯物のダンピングに 滿洲石油界 愈よ混沌

〔奉天六日發國通〕今春以來滿洲石油市場獲得の爲乘り出したソ聯石油シンヂケート團のダンピング政策は其後漸次スタンダード、アジア、テキサスの販賣市場を侵蝕しつゝあるが右三大會社は現狀維持に狂奔しそれに日本石油の滿洲進出等今や滿洲の石油戰は三巴となり販路擴張に大童となつてゐるが、ソ聯側の價格本位政策は他のスタンダード・アジア、テキサスを一蹴して斷然第一位を示し十月中奉天に於ける販賣高はソ聯の三十八百函を第一にスタンダード、アジア、テキサス、日本側の日本石油、小倉石油の順であるが右三巴戰は今後益々白熱化し來り、各社が右ダンピングに對抗し如何なる政策に出るか相當注目されてゐる

長期株式 時價總額 四十八億六千百六十四萬餘圓

〔東京六日發國通〕東株調査に依れば一日現在に於ける長期取引場株式時價總額は四十八億六千百六十四萬七千圓で前月に比し二億千六百四十萬三千圓增加して居る

財界に明るい氣分 十月末の輸出入狀況

〔東京六日發國通〕複雜且つ多難な國際經濟戰の中にあつて本邦貿易は比較的順調な推移を示し、十月末に於ては輸出總額は十五億二十四百九十四萬六千圓、輸入は十五億六千二百九十四萬六千圓、差引入超累計三千八百萬圓となり前年同期の入超六千六百十萬七千圓に比する時は約半減の形となり財界に可成明るい氣分を與へてゐる但し十月末迄の成績を以て直に昨年に比し好結果を記錄するであらうと見る事は早計で昨年は十一月十二月の輸入季節に入りながら十一月中に尚ほ出超三百二十萬圓、十二月上旬、中旬に百二十萬圓の出超を示す等稍々意想外の結果を見せたが今年は之を期待する事は出來ない、即ち今年は今後二ヶ月間に棉花、羊毛兩の原料品の輸入が相當多量に上る事は必然とされてゐる、從つて今後の入超轉換を考慮すると今年度內地貿易入超は四千萬圓見當となる事が略々明瞭になつた之に朝鮮、臺灣及び南洋を含む植民地貿易の入超は大體三百五十萬圓と豫想されてゐるから合計七百五十萬圓程度の入超に終るであらう、これを昨年の內地入超二千百四十六萬九千圓、植、地入超四千五百七十六萬四千圓、合計六千七百二十三萬三千圓に比すると稍々不成績である

牧用政屯 社金鑛は 大滿砂金公司で經營

〔奉天六日發國通〕元張學良所有の牧用政屯社金鑛は既に滿洲國政府に於て逆產として處分せるものであるが、今回滿洲國實業部に於ては右を民間經營に移す事となり、大連市榮町大滿砂金公司に採掘權を附與する事となつた、依つて同公司では採掘事務所を鐵嶺松島町四番地に設け來春早々採金に着手する計畫で、既に前調査の爲日本人五名、滿人若干名を同地に派遣調査をなさしめてゐる

土肥原少將 七日歸任

〔奉天六日發國通〕新京に滯在中の新任奉天特務機關長土肥原少將は七日午後一時二分着の「ハト」で歸任の途に就く豫定である

大西洋廻航と アメリカ政府側の說明

〔東京六日發國通〕海軍省に達した情報に依ればアメリカ海軍の大西洋廻航は來年春より數ヶ月カリビイアン海にて演習を行ひヴアヂイニア州沖で觀艦式を擧行のためで右は乘航員に大西洋に慣らせると共に所屬軍港で船体の檢査を行ふためであると米國政府當局は發表して居ると

滿洲炭礦會社 統制各炭礦事情（一）

來る十一月中旬を期し創立される運びとなつた日滿合辦滿洲炭礦株式會社は資本金千六百萬圓（內滿洲國六百八十萬圓現物出資、中央銀行二十萬圓現物出資、滿鐵九百萬圓現物出資、同三百萬圓現金出資）を以て撫順、煙臺、本溪湖等の滿鐵關係既發炭礦を除く約二十億の埋藏量を有する全滿の炭礦を統制し、滿洲國の石炭資源の開發に當ると共に滿鐵との間に生產並に販賣に關する協定を行ひ以て濫掘を防止し且つ炭價の合理化を圖ることになつてゐるが、同會社に抱括される七炭礦は滿洲國百年の燃料國策を滿足せしむべき內容を有すると同時に、之が日滿消費者を潤す限度も極めて大なるものがあると期待されてゐる

即ち炭礦の概況左の如くである

△復州炭礦

奉天省五湖嘴にあり一名五湖嘴炭礦の名もあるが、瓦房店驛より五十九キロ、三十里堡驛より八キロ餘の三道灣より海路四十分にて到着し得る地點にある、本炭礦は清朝乾隆年間の發見にかゝり久しく清國人が經營したが後露人の手に移り日露戰後邦人が之に關係したこともあるが同文貴氏が經營することに及んで業績振ひその沒後學良系の東北礦務局の管轄下に置かれたが、滿洲事變勃發するや幹部逃亡し逆產として滿洲國之を接收し滿鐵に委託經營せしめた

埋藏量はまだ完全な測量を行つてゐないので正確なことは判らないが、舊政權當時の調査によれば約千六百萬噸と云ふことだ、炭層は稼行に適するもの十三層あり平均厚さ一米乃至三米である炭質は脆弱で塊炭少く半金屬光澤を帶びた無煙炭であるが、硫黄分比較的少く煉炭原料としては絕好である、出炭量は從來の實績に徵せば、年二十萬噸前後であつて販路は全滿始め日本內地、南支及び山東方面である、尚同炭礦の將來は無煙炭の少ない滿洲では無くてはならぬ存在の一に數へられ且海港を間近に控へてゐる關係から種々好條件に惠まれ大いに期待を持たれてゐる

△八道壕炭礦

奉天省黑山縣八道壕驛（打通線）南方一キロの地點に在り打虎山に三キロ、錦州に百三十七キロ、奉天には百六十キロである

民國八年同部落民が發見し小規模な採掘を行つてゐたが、その後作霖が巡閲使として此地方を視察せる際、同炭礦に目を付け參謀長を總辦として經營の衝に當らせ主として軍用に充てた

事變當時は東北礦務局が管理してゐたのを沒收し、滿鐵の委任經營となつたものである

正確な埋藏量は未定であるが大体に於て推定二千萬噸と稱されてゐる、炭層中稼行し得べきもの五、六層で厚さは一五米程で炭質は瀝青炭又は褐炭に近く漆黑色で脂肪光澤を有してゐるが、風化し易く餘り有望とは云ひ難い、販路は主として奉天、錦州、營口、山海關、打通線沿線で發電所用として使用されてゐるが、附近に大市場を有しないのと撫順炭、北票炭に挾撃されて今日までは窮狀にあつたが、新會社の統制ある販路分野の決定に依つて浮び上るであらう

日滿悲曲 生命線を行く（上演上映）

國友雄吉 （荒川芳三郞畫）

（十）

彼の家

東支鐵道から滿鐵本線へと、二晝夜以上にわたる長途の汽車旅行をつゞけて、滿洲里から大連に着。大連から更に、汽船あめりか丸に乘つて神戸に着。伸一の足が、久しぶりに故國の土を踏んだのは、滿洲里を出發してから一週間の後であつた。

汽車が滿洲の野を走つてゐる間は、妻子のことを思ひつゞけた彼が、船がだん〳〵日本へ近づくに從つて、さすがに父の安否が氣遣はれた。

神戸から東京へ、電報で知らせて置かうかと思つたが、考へ直して、それを止めにして、旅の疲れを息める違まも無く、神戸驛から再び、東京行に乘つた。

零下何度といふ寒さの北滿洲から來て、伸一は先づ、甚だしい氣候の變化に驚きながら、毛皮の外套などを、あわてゝトランクに押し込んだ。

汽車は、だん〳〵彼を、なつかしの都へと運んで行く。長い間、ハイラルの草原、興安嶺の森林、チチハルの平野など、荒涼たる眺めに馴れてゐた彼の瞳に、車窓の外に動く故國の風景が、街も村も山も野も、どんなにかなつかし味をもつて、彼に迫つて來たことであらう。

これが若し、父の病氣に赴くので無く、そしてあの可愛い茂彥と妻と三人づれのの旅行であつたなら、どんなに樂しいことだらうと、思はずに居られなかつた。

伸一の歸つて行かうとする彼の東京の家は、本郷の駒込林町にあつた。家は三年以前、主人周作氏の成功と共に、もとの住宅を立派に改築して、此付近では、ちよつと人目を惹くゝらゐの宏壯な建築であつた。

しかし、今その宏壯な建物の內部は、暗い憂愁にとざされて居た。

それは、主人周作氏の病氣であつた。

胃癌が次第に昂進して、彼氏の容態は既に、絕望の重態に陷つてゐた。しかし、體は骨と皮ばかりに痩せて居ても、意識は、確か過ぎるほど確であつた。『伸一が歸るまで、俺は死なゝいぞ』といふ努力が、彼を力づけて居るからであつた。

それほど彼は、伸一の歸りを待ちこがれて居るのだつた、が、六年以前に不圖家出をしたその伸一は、只だ滿洲里に居るといふ噂を聞いたゞけで、確かなことは分らない。

たま〳〵知人の星澤耕作氏が、新京まで商用で出かけるといふのを聞いて、是幸ひと傳言を賴んでやつた。が、果して巧く尋ね當つたものかどうか、星澤氏からは、今以て何の知らせも無い。

しかし周作氏は、必ず伸一が、歸つて來るものと思はれてならなかつた。それを樂みにして、彼は日增に衰へて行く氣力と肉體とを力づけながら、漸く活きてゐるのだつた。

それは、寂しい秋のソロ〳〵近づいて來やうとする九月中旬であつたが、東京では、まだ折々、殘暑の強い日があつた。

氏家家の現在の家族といふのは、主人の周作氏と、夫人の千瀨子と、そして伸一の妹にあたる榆と、その弟の久彌と親子四人のほかに召使ひの男女三人を合して、都合七人であつた。

その外に尚、伸一の妹で、榆の姉に當る佐喜子といふ娘もあるが、それは既に嫁しづいて現在では、嘉村邦彥といふ銀行家の夫人となつて居る。

その佐喜子の良人である邦彥が、病氣見舞にやつて來て、いま周作氏の枕もとに坐つてゐた。

病室は、奥の綺麗た日本室であつた。外廊下の硝子戸を開け放つて、廣い庭園の樹々をそよがせて吹入つて來る初秋らしい爽和な風を病床近くまで迎へ入れてゐた。それほど今日は快晴で、そして周作氏の氣分も爽やかであつた。

滿鐵の改組問題 現地の意見一致す

小磯、八田兩氏近く東上の上 愈よ中央の議に

八田副總裁と小磯參謀長との六日の會見で、滿鐵改組問題に對する軍部、滿鐵兩者間に大綱並びに細目に關する意見完全に一致を見た、これで現地に於る一切の工作完了を告げたので、この結果を携へて小磯參謀長、八田副總裁は關東軍並びに滿鐵を代表、數日中に東上する事に決定した、斯くて本問題は愈よ中央に移され、陸軍拓務、外務關係三省の議に移される事になつた

現地の意見既に完全一致を見た以上、本問題は假令末葉的修正はありとしても、大体に於て現地案が其のまゝ實現されるものと期待されて居る

改組案の內容大綱

六日新京に於ける小磯參謀長八田滿鐵副總裁の會見に於て中央に携行提示する事となつた滿鐵改組案の內容なるものは、去る廿八日特務部で沼田中佐が大連に於て同副總裁に手交せる特務部案（既に陸軍中央部の賛成を得た）を更に滿鐵のエキスパートより成る機關にかけ、審議せるものを本日再び小磯參謀長に提示し協議の上決定せるもので、該案の內容は目下尙嚴秘に付されてゐるが探聞するに左の如き內容を含むものゝ如くである

一、日本の對滿國策指導には關東軍司令官を中樞機關として行はねばならぬ、故に滿蒙產業開發の大動脈たる滿鐵は拓務省の手を離れ、軍司令官の一元的監督下に置き、現在の滿鐵は諸事業を分立せしめ獨立した持株會社組織に改める

一、持株會社の資本金は當分現資本八億圓とし將來必要に應じて內地資本を吸集し各個會社に放資する

一、分離される事業は鐵道、炭礦、商事の三部門で既成會社たる昭和製鋼所、滿洲化學工業會社、電信電話會社及び計畫中の統制事業たる石炭會社、大合同電氣會社、輕金屬會社、石油會社等持株會社の資本統制を受ける

一、持株會社及び鐵道を除く以外は概ね滿洲國の法人組織とし實行は滿洲國法の下に立つと共に軍司令の最高指導をうけしむ

一、地方部は當分持株會社の附帶事業として從來通り附屬地行政を掌理し妥當と認むる時期に於て滿洲國に移管する、その時期は日本の治外法權撤廢期と目され、既に滿洲國に於ても之が經費に就て相當考慮が拂はれてゐる

一、特務部と滿鐵經濟調查會とを合同し經濟參謀本部とし全滿經濟を統制するための軍司令官の智囊機關たらしむ

現地の意見完全一致で

愈よ日滿ブロック結成へ

獨立國家滿洲國を指導して日滿兩國共同體存立の大目的を遂成せしむる爲めに軍司令官の三位一體制の擴大強化を斷行することは現地及び日本の直面せる非常時打開上必然の行動でこの大目的を貫徹するには

一、滿洲國をして充分にその行政經濟的手腕を振はしめると共に

二、之をして日滿兩國民衆の共同繁榮に資せしむるやうに之に有效適切な指導と監督を與ふることが必要である

從つて軍司令官は有力な經濟計畫部の援助の下に軍事指導のみならず經濟行政の指導に任ぜねばならぬ これ傳へられる經濟參謀本部なるものであるが大綱の指導と監督に當る性質上大規模なものを要せず、從つて三位一體の擴大強化も法律の改廢を要せず勅令の發布を以て足るものである、以上に依つて明かな如く滿鐵改組の核心は滿鐵をして最も有效適切に滿洲經濟開發の事業に當らしめる爲のもので其の根本方針は軍と滿鐵との間に既に過去一年に亘つて眞劍な研究を遂げたる後兩者最高幹部の重大決意を經て最後的斷案に到達、事實上も八億增資、新設諸會社の設立と着々實現せられ來り今やその內外の具體的交涉に從事し來つたのである、今回小磯參謀長と八田副總裁の會見にて遂に細目的な點に至るまで兩者の完全な意見一致を見、軍滿鐵の兩スタッフは一事に此の新に成れる綜合力を以て國際情勢に面して稍もすれば無力無爲に流れんとする日本內地をひきづつて日滿ブロックの結成に一大拍車を加へんとの意氣込みはすばらしいものがある

軍との意見一致

いま更問題でない 八田副總裁語る

六日小磯參謀長と重要協議を遂げヤマトホテルに引上げた八田滿鐵副總裁は往訪の記者に對し

滿鐵改組問題に就ては問題の重要性に鑑み外部に洩らさない約束が取交はされてゐるから、何事も話す自由を持つて居らぬ・滿洲開發の根本方針に關しては以前より關東軍との間に意見の一致を見て居り今更ら問題ではないが滿鐵改組の具体案は目下研究中だ

とのみで小磯參謀長との會見內容に關しても固く口を緘して語らない

宋子文の辭職により 國府大改造か

交通部長に王正廷復活せん

〔上海六日發國通〕宋子文の辭職後中央政府要人の南京、上海間の往來頻繁で中央財界に一變動あるかの如く傳へられて居るが有力方面より探聞するに今回辭任せる浙江省長魯滌平氏の後任に交通部長朱家驊氏を、交通部長に前外交部長王正廷氏を、外交部長に駐平政務整理委員會委員長黃郛氏を、司法行政部長に羅文幹氏を夫々任命し內部的建直しを行ふことに內定せるものゝ如く近く表面化するものと見られて居る

松花江渡江不能で 呼海北鐵連絡方協議

呼海線は當分廟台子發着

松花江渡江不能となつた場合呼海鐵路旅客列車と北滿鐵路旅客列車との廟台子驛における連絡について兩鐵路局間に交涉中であつたが四日兩者間に意見の一致を見たが六日から呼蘭地方俄に氣溫下り渡江不能となつたため七日から從來馬船口に發着してゐた呼海鐵路旅客列車は松花江結氷して氷上の交通が出來る樣になるまで當分の間左記時刻によつて廟台子に着發させ北滿鐵路旅客列車との連絡をとることとした

即ち北滿鐵路二十三列車哈市發午前七時五十分、廟台子着午前八時十七分、呼海鐵路二十二列車廟台子發午前九時五分、松浦着午前九時十八分以下變更なし、北滿鐵路二十七列車哈市午後一時四十分發廟台子着午後二時七分、呼海鐵路四百二十四列車廟台子發午後二時四十七分松浦着、午後三時三分綏化着、午後六時三十四分（本列車時刻變更）呼海鐵路四百二十三列車松浦發午前十時四十二分（綏化、松浦間變りなし）廟台子着午後三時十五分、北滿鐵路二十八列車廟台子發午後三時五十五分哈市着午後四時二十五分

なほ呼海鐵路其の他列車時刻は從來通りで又北滿鐵路二十三列車は月、火、木、土の四日はチ・ハルまで直通し水、金、日の三日は哈市廟台子間折返しとなる

日印會商愈よ最後の幕へ！

双方の主張尙開きあり

〔デリー六日發國通〕九月下旬以來前後一個月半もみにもんだ日印會商は六日の第十次會議で愈々最終的局面に入る事となつたが、日印兩國の主張には品種別貿易年度、期間別制度の附帶條件があり、印棉買付量に於て依然として二十五萬俵の相違がある事判明した右の買付量に關する日印兩國の主張を表示すれば次の如くである

△印度政廳の主張

印棉買付基準量を百二十五萬俵に對し、綿布輸入割當三億二千五百萬平方碼、一俵二百平方碼の增減率によれば綿布輸入最高限度四億平方碼を實現するには印棉買付量百六十三萬俵となる

△日本案

印棉買付基準量百萬俵に付き三億二千五百萬平方碼、最高量四億平方碼を實現するには印棉買付量百三十八萬俵となる

新京聯合會

滿鐵社員會宣言を支持

滿鐵社員會新京聯合會では四日社員倶樂部に集合し滿鐵改造問題に對する社員會の宣言を支持すべきことを協議し、左の如き電報を社員會幹事長、公主嶺、四平街、鐵嶺、奉天、鞍山、大石橋、營口、撫順、沙河口、大連、阜頭各聯合會宛送つた

當聯合會は滿腔の誠意を以つて滿鐵改造問題に對する社員會の宣言を支持し爰に幹事長並に各委員の御努力に對し深甚なる敬意と謝意を表す、尙今後とも一層の御健鬪を祈る、右新京聯合會評議員會において滿場一致決議せり

四日の兩氏の私的會見の內容

〔デリー六日發國通〕休會明け四日の澤田、ボーア兩氏私的會見の內容につき確聞する所に日本側は印度提案につき種々意見を述べたが綿布と印棉の比率については毫も觸れず專ろこの數字をかねる全体條件として

一、一年を四期に分割すること

一、綿布を四種に分類すること

一、爲替異動に特別の規定を置くべきこと

等印度側から提議したが之等に關し全面的に意見を交換したのみであつたとのことだこの各種の附帶條件に關し日本側は初めより反對しこの日も强硬に反對を續け更に讓歩の餘地ないので印度側の再考を求めた日本の肚は印度の提議した數字基本三億二千五百萬平方碼百萬俵最高四億とするに對し基準として百萬俵四億碼の最高要求を持ち出して居りその間かなりの開きがあるので兩者の接近出來るやう先づ附帶條件につき重ねて考慮を望んだものでこれに對し印度側は大体一年を四期とするは大して問題でないので讓歩する意向を示したが品種別に分類することと爲替に關する點はかなり强硬な態度を示してゐるやうである、この品種別分類の眞意は日本の高級品を制限せんとするものでランカシャに對する義理を果さんとするものである、尙第十次本會議は午前十一時開會され澤田代表は條件撤廢、その他日本が前日の私的會見で要求したことにつき滿足したから日本は印度提議の數字に同意する意志ある事を表明したが印度側は品種別を容易に讓らず會議は何等決定を見ることなく十一時五十分散會した

次回の日印本會議 來る八日に

印度側ジリジリ讓る

〔デリー六日發國通〕六日の第十次本會議に於る印度側が提議した修正點は發表されないので不明であるが棉花、綿布の基準量及び棉花買付量が輸入綿布割當の最高限に對する量以上に出た場合現在の一俵對二百碼の比率で綿布輸入を增加せしめる點で多少の讓歩をなしたものと見られる、更に輸入を四期に區別する事に就ても之を二期に分つ事に讓歩したものである一方品種別に就ては印度側は飽迄も强硬に從來の主張を繰返して居り讓歩の色を見せなかつたと云はれる、尙綿布關稅を六月以前に戻し五割とした場合、生地綿布は從價五割又は一磅に就き九〇アンナー四分の一の從量稅を課する事となるのだがその他の綿布に對しても印度は從量稅を設け從價稅と何れかを課せんとして居り、この點は價格下落の場合の關稅收入確保の爲强硬に主張して居る模樣である、次回の本會合は未定であるが、多分八日に本會議が開かれるものと見られて居る

喧傳される米露復交

上海に訪露軍艦待機す

〔奉天六日發國通〕上海より當地某機關に達した情報によれば米國が來る七月正式に露國を承認するとの說は昨今同地に於て盛んに流布されて居り又來る十四日米國アジア艦隊旗艦アガスタ號は多數軍艦を從へ上海に入港十六日ウラジオに向け出發するが右目的は承認直後公式に露國を訪問するためである

北鐵で

又薪を使用か

〔ハルビン六日發國通〕北鐵石炭倉庫にストックされてゐる貯炭量はソ聯側幹部が穆稜炭、鶴立崗炭の購買を中止してゐるため現在では殆ど余裕なき狀態であるに拘らず、然も列車は通常通り運行されてゐるので秘かに石炭使用をやめて薪材を使用してゐるのではないかとの疑ひ濃厚となつてゐる

敎化聯盟で大飛躍を計畫

けふ幹部會で打合

新京敎化聯盟では精神作興詔書渙發記念行事打合せのため七日午後二時から地方事務所內で常務委員會を開いたが同聯盟ではこれを轉機に一大飛躍をなすべく計畫中で既に毎月一日を國恩感謝デーとし新京神社境內で國旗揭揚式を行ひ、皇居遙拜神社禮拜をなし國恩に對し感謝するとともに忠誠奉公の精神を發揚することに努めてゐるがこの行事を一層擴大して多數一般市民の參加を勸誘するとともに、機會ある毎に趣旨宣傳、講演會活動寫眞、篤行者および團体を表彰するなど一層積極的に一般市民に呼びかけるべく、これが具体的の方法その他についていろいろ懇談をとげるところあつた

在滿各機關代表

近く前後して上京 改組問題附屬地返還問題商議

〔大連六日發國通〕滿鐵改組問題並びに之に關聯して起る附屬地返還問題は東京に於て在滿各機關代表、滿洲國政府代表並びに外務、陸軍、拓務三省間に最後的協議を行ふ事になつたと言聞する、之が爲在滿各機關代表として滿鐵八田副總裁、關東軍小磯參謀長、大使館谷參事官等近日中相前後して上京するものと云はれてゐる

關門海峽の

交通改善案

〔東京六日發國通〕關門海峽の交通改善は非常時國防の急務とされて齋藤首相より十一日の交通審議會に附議される事となつて居るが關係官廳としては實現性あるものとして力を入れてゐる、右に就き鐵道當局は語る

橋式にすれば技術上簡單だが、船舶の通行に支障と不便がある、最も良いのはトンネル式だが之に要する工費は約三千萬圓程度である

渡日の途

遠藤總務廳長談

〔大連六日發國通〕就任以來始めて歸朝する遠藤總務廳長は六日午後七時二十分着列車で來連ヤマトホテルに投宿したが車中左の如く語る

日本は政治季節に入らんとし、自分も一通り滿洲國內の事情が判つたので日本政府と連絡のために上京するのだ、滯京中は殆んど全部の大臣と會ふ積りでゐる、滿洲國當面の問題は滿鐵改造に伴ふ附屬地の接收であるが當然であり理論的には接收するのが當然であり建國當時よりの希望であつたのだが實際に就て考へて見ると現在滿鐵が附屬地經營に支出してゐる二千萬圓の金が滿洲國に捻出出來るかといふと之は甚だ困難である

政府部內に於る人事制度の刷新並びに確立の打合せもある、具体的には云へないが必然的に人の動きもあるだらう、併しそれは二次的なものだ、政府としての用意はある

滿洲に於る日本側監督機關が一元的になるのは當然の事だと思ふ、監督權が重つては日滿兩國に不利益だ先般來傳へられる如き監督機關の單純化は非常に望ましい事で、要するに滯京中滿洲國內に發生してゐる現下の問題は大小餘さず良く話して見る心算だ

尙ほ遠藤廳長は七日午前十時出帆の「うすりい丸」で渡日する筈である

人事往來

▲八田滿鐵副總裁 滯京中のところ七日午後十時新京發歸任の豫定

▲熙洽氏（財政部總長）六日午前十一時着吉林から

▲鈴木軍曹以下十一名（第〇〇團傷病兵）同上

▲廣瀨中將（第〇〇師團長）六日午後零時三十分發吉林へ

▲アルトロマフエー氏（駐哈伊國領事）六日午後三時二十五分着哈市から、午後四時三十分發大連へ

▲鮑觀澄氏六日午後四時三十分發大連へ

▲憲原氏（執政侍從武官）六日午後四時三十分發東京へ

▲渡邊獸醫監（關東軍獸醫部長）六日午後四時三十分發奉天へ

▲古田司法部總務司長六日午後七時三十分着

▲土肥原少將（奉天特務機關長）七日午後九時發奉天へ

▲二階堂大佐　同上

▲加藤中佐（關東軍參謀）同上

▲石塚顧問（鄭家屯）六日午後六時五十五分着鄭家屯から

▲葆康氏（民政部次長）七日午前八時四十分發哈市へ

團体

▲飛行第〇〇聯隊將校以下八十五名七日午前四時三十五分發吉林へ

▲加藤少佐以下〇〇〇名七日午前五時着奉天から

▲食事驛主催團十六名七日午前八時四十分發哈市へ

▲東京市小學校敎員團七名八日午後三時二十五分哈市から歸京九日午後十時發鞍山へ

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊　一八片二分ノ一
同遠限　一八片八分五
紐育銀塊　四一仙二分一
孟買銀塊　吳留比一六分三
米英爲替　四弗八八仙〇〇
米日爲替　二九弗三七仙
米支爲替　三三弗三五才
スチール株　四〇弗〇〇
アナゴンダ株　一四弗八分五

▲上海標金

昨止	七百三十二〇
高値	休會
安値	七百四三〇
本寄	七百四〇〇
步値	七百四七〇〇

現物	[illegible]
十二月限	九仙五五
一月限	九仙三五
三月限	九仙四一
五月限	九仙五七
七月限	九仙七五
十月限	九仙八五

▲上海日本向

第一回	一〇八〇〇
第二回	一〇八五〇〇
第三回	[illegible]

▲上海倫敦向

賣値	一志三片一六分一
買値	一志三片四分三

▲上海紐育向

賣値	三二弗八分一
買値	三二弗一六分三

▲大連金鈔票

現物	一二四〇〇
十一月十三日限	一二五〇〇
寄付	一二八〇〇
步値	一二三〇〇

出來不申

▲大連上海向

引値	九〇一〇〇
高値	九〇〇五
安値	九〇一五五
出來高	[illegible]

各地市場

▲大連歷台向

[illegible]

▲大阪株式

大株	一二五三〇	一二五四〇
大紡	一三三九〇	一三三一〇
鐘紡新	二四七八〇	二七七三〇
同新	一三〇四〇	一三〇四〇

▲同短期

大新	一三八〇	一三九七〇
鐘新	一四〇二〇	[illegible]
東新	一〇一五〇	一〇一四〇

▲大連株式

五品當	一七七〇	一七六〇
先	一七六〇	一七四〇

▲大阪三品

當限	[illegible]	[illegible]
十二月限	三三七〇	三三一四〇
一月限	三三七三〇	三三七〇〇
二月限	三三三〇〇	三三六三〇
三月限	三二七〇〇	三二六三〇
四月限	三二三〇	三二一一〇
先限	三〇〇〇	三〇七八〇

▲大阪棉花

當限	四九三〇	四九五〇
先限	五一二〇	五一八五

▲大阪期米

當限	二四七〇	二四七三
中限	二四三五	二四五三
先限	二四八	二四七九

▲仁川期米

當限	三一	三〇八
中限	三〇四	[illegible]
先限	三一	三〇七

▲橫濱生糸

現物	六八〇〇	六八〇〇〇
當限	六〇〇〇	六三〇〇〇

▲大連特產

●大豆 現物	三九〇	三九〇
十一月限	三八五	三八五
出來高	一万枚	
●豆粕 現物	三九八	三九八
十二月限	三九二	三九四
一月限	三九二	三九三
二月限	三九四	三九七
●豆油 現物	一二三五	一二三五
十一月限	一二四〇	一二五〇
十二月限	一二五〇	一二五〇
一月限	一二五〇	一二五〇
二月限	[illegible]	[illegible]
●高粱 現物	一二四〇	一二四五
十一月限	一二三五	一二五
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	一三〇七	一三〇七
二月限	一三一〇	一三一〇

▲カルカッタ麻袋

先限	六〇八〇〇	六〇八〇〇
青筋	三六六比八分五	
織筋	四〇比八分五	
爲替	八〇〇比四一三	

新京市況

糧豆現物

特產 現物	一〇、七〇	二十車
大豆	四、一〇	八車
高粱	一一、八〇	一車
小豆	[illegible]	[illegible]
包米		
同先物	出來不申	

錢鈔

鈔票對金票	一一〇八五錢
現大洋對金票	一〇七五〇錢
國幣對金票	一〇七〇一
現大洋對鈔票	九六八〇一

新京内外荒し强盗の頭目逮捕近し

新京署一年に亘る大苦心

漸く酬いられるか

昨年末から本年七月にかけ頻々として新京附屬地並に城内各所に拳銃强盗團が出没し市民をおびやかしたが新京署では全署員特に司法刑事を激勵し倉田司法主任指揮の下に三段の構へで犯人逮捕に

=全力=を注ぎ不眠不休の大活動を續けた結果、同一味は元匪首姜某を頭目とする十五名からなる拳銃强盗團と判明し、一團の潜伏場所を突止め既報の如く本年三、五兩月に亘つて一味九名を大檢擧した、以來頭目姜外れ名は巧みに警戒線を潜り各所で犯罪を敢行してゐたが、一味山東省生れ李崇田(三三)が最近炭坑附屬地に潜入した事實を突止めた成松、岳、趙三刑事は内査を進めたのち六日午後二時ごろ賊が滿人某宅で晝寢をしてゐるを幸ひ同家を襲ひ大格闘の末逮捕し、拳銃一挺を押取、取調べたところ頭目姜外一味は四平街某所に潜伏してゐるを

=供述=したため河本警部補は四名の刑事を從へ七日午前六時新京發列車で逮捕に向つた

運賃拂ふが惜しさに發見され二重拂ひ

今後は更に嚴重處分

去る三日午後七時三十分新京着急行列車三等室洗面所にまたく運賃ホ脱の目的で輪送された荷物が發見された、專務車掌が調べると羊毛皮三十枚を栗色蒲團袋につめ奉天から積込まれたもので列車新京驛到着の上運賃一圓九十五錢加重金一圓九十五錢、保管料二十錢を徴收して七日荷受人に引渡した、荷送人は奉天江ノ島町十三番地某洋服店内倉佐古泰助、荷受人は新京室町一丁目某洋服店である、なほこの種の目的をもつて輪送する行爲が未だに頻々として行はれる傾向に鑑み鐵道事務所ではこれが防止方並びに制裁方法考究中であるが今後は發見次第嚴重處分に附することゝ決定した

古田司法部總務司長晴の新京入り

追々と改善してゆきたい

新任司法部總務司長古田正武氏は六日午後七時卅分着列車で司法首腦部その他滿洲國側要人多數の出迎へを受け着任直にヤマトホテルに入つたが氏は途中公主嶺迄出迎への記者に長途の疲れも見せず左の如く語る

着任乃感想と云つてもまだ何も話す事はないが、大連でも話した樣に司法部の仕事は正義に則つたもので日本の司法制度も滿洲國のそれも根本方針に於ては幾多の重要問題が殘されてゐるが、追々と改善、整備して行き度い、その方針？それは實際に仕事に當つた上でなければ解らない、治外法權撤廢問題が喧傳されてゐる樣だが要するに之は司法制度の完備した時に於て實現性があるもので、その方法や時期の問題は充分研究しなくてはなるまい

(寫眞左新任古田總務司長右阿比留前司長)

四平街近藤組へ五人組拳銃强盗

現金二千五百余圓と貴金屬類を强奪逃走

去る三日夜十時四十分頃四平街驛南踏切地下道工事請負近藤組の工事事務所を襲つた五人組强盗があつた、恰かも三日午後十時四十分頃近藤氏を初め同人息女及び日本人使用人六名にて

=談話=に打興じて居ると突如五名組の滿人らしき怪漢現はれ三名は外に見張を爲し二名は無錠を幸に事務所内に侵入一人は背廣にスプリングコートを著しブローニング拳銃を以て八名に銃口を差し向け金を出せ騒ぐと射つぞと脅かし背廣の怪漢が轟然一發拳銃を發砲一同の怯むを見て大人の使用人を土間に伏せしめ一人は入口に立ち塞つて銃口を擬し一人は座敷に上り近藤息女より二千五百十五圓を强奪し更に室内を搜し時計、洋服、測量機械、トランシット、測量用標準器、寫眞機、廻轉式六連發拳銃一挺、彈丸十五發其他數點計九百余圓、合計三千四百余圓を强奪悠々逃走したとの屆けにより四平街署では直に非常線を張り

=徹宵=捜査せるが容疑者なく引續き嚴重嚴探中であるが刑事の苦心によつて略ぼ目星つきたるもの如く近く檢擧の快報を得るであらう(四平街)

商租法規の立案を急ぐ

財政部と民政部

邦人土地商租權は夙に商租條令の制定により確立せられたが、唯實上現たる商租條令施行細則及び執照發給令同施行法の公布遲延により未だ事實上商租不可能の狀態にあるので、財政部では民政部と協力して商租法規の立案を急ぎ遲くも本月中には公布すべく準備を進めて居るが、私有地商租手續については簡易を旨とし商租人に於て所轄領事館の認證許可を得た上、商租地所管縣公署又は市公署に屆出で省公署の認可を經て許可する方針である

税收狀況

豫想外の好成績

滿洲國政府の税收狀況は最近非常に順調に推移し、大同二年度(七月一日より十月末日に至る)の税收は僅か三個月間に三千七百七十七萬四千圓に上り二年度豫算收入見込三千二百六十四萬圓に對し五百十三萬四千圓の增收を示して居り、今後徴税機關の整備に伴ひ、本年度内に於て三千萬圓程度の豫算超過可能と觀測されて居る、大同二年度十月末現在税收狀況は左の如し(單位千圓)

關税	二四、二九四
(見込豫算に比し八百五十萬圓の超過)	
鹽税	五、二八八
内國税	七、七九一
官業收入	四〇一

(火柴公賣益金及び中銀配當金)

但し官業收入中吉黒榷運署及び專賣公署益金を除く

街の日記

馬淵俊一氏(前新京郵便局長)暫く奉天局在勤を命ぜられたが今回退官滿洲國電信電話株式會社總務部人事課長に就任した旨消息があつた

八百子好評

今夜が千秋樂

長春座に開演した木下八百子の初日を覗いて見る、木戸口で興行主宮本君が明石綠郎が急病で出演出來ぬこととなつたので前賣券を持つて來た觀客に三十錢宛の拂戻をし、又入場券をそこで求めるものにも割引を斷行してゐたのは人情者から好感されたことによつて原る損失に同情を寄せられてゐた、一番目は時代劇片腕仁義といふ長脇差もの、明石はぬけてもさすがに粒ぞろひの一座だけあつて最後の亂鬪の場面など拍手喝采頻りに起つた中幕新劇蔦松藥のお藥八百子の主演、俠妓お藥が己が左前であるに拘らず主筋の親娘を庇ひ娘絹子が妹藝者として突け目をさらせまいと苦心する矢先降つて湧いた不運、それを救ふため絹子は黒川某を旦那にとらねばならなくなるそれを止める力がお藥になくその怨嘆のあたりは觀客に涙を絞らせた殊に花街の人達はハンカチに面を掩つてすゝり泣くといふ騒ぎ、大詰、旦那黒川の眼を晦まし絹子を愛人に逢はせるところの戸らがひから嫉妬に怒り狂ふ黒川を宥める爲め禁酒を破つたゝめに黒川の押ふ刃の奪ひあひから過つて黒川を殺すまでさすが木下お手のもの好評嘖々たるものがあつた、今七日夜が二日目で千秋樂である

馬の疽疽病

四平街日進街三丁目十五番地之四居住滿人馬車夫仇古四所有馬は五日午後折からの吹雪を乘用馬車馬として使役中馬は急死したが獸醫檢診の結果疽疽病と決定當地消防衛生係では恐るべき傳染病であるので嚴重なる消毒を行つた(四平街)

昨日一日に火事二件

連日に亘つての火事騒ぎ一日平均二件…七日午後七時廿分ごろ市内曙町四丁目一二ノ三平本洋行店員宿舍榮監傑氏方から出火した、急報に接し新京消防隊がかけつけ消火に努め同三十分鎭火した、損害百圓原因は溫突の過熱と判明した

▲同日午後三時三十分ごろ新京特別市京智路四一一號滿洲國實業部林業科長青山啓之助氏方から出火した、直に滿洲國京南消防隊がかけつけたが水不足で手の下しやうがなく見る〳〵内に一棟一戸を全燒し同廿時十五分鎭火した、損害一萬二千圓原因は目下所管署で取調中である

最初の陸大留學將校

憲原少將出發

滿洲國より日本陸軍大學校に派遣される事となつた執政府侍從武官憲原少將は六日午後四時卅分發列車で執政府軍政部關係者の見送裡に赴日の途に上つた、尚ほ氏は大連經由十二日出帆の「あめりか丸」で神戸に向ふ豫定である

各自負擔で殘土整理

舊競馬場跡

既報舊競馬場跡の殘土殘材整理については結氷期も目前に迫つた今日、一日も早く着手すべく必要に迫られてゐたところ關係各戸では各一戸當り十五圓乃至三十圓を殘土運搬費として地方事務所に納し地方事務所では一括これが取除けに當ることになつたが左記諸氏が世話人として關係各戸に諒解を求めるべく七日それぞれ通知狀を發したがなほ右金額は精算のうへ實費により過不足を納受することになつてゐる

世話人(いろは順)原田榮之助、新出勘左衛門、大本六二、龜岡忠藏、田中卓二、宇野常吉、丸山直助、前田伊織、天野恒太郎、淺井庄一郎、佐藤精一の諸氏

活洲大評判

吉野町二丁目甘栗太郎商店の裏靜閑の所に新築華々しく開業した食道樂「いけす」は開業早々より仲々評判がよい主人公外山君は以前料亭勝に居た人で此の道の人に稀らしい溫厚兵で獨立して自信ある料理多の鍋物、麥とろ、水炊き、浦燒等自慢とし、みごとな庖丁味は既に觀客を喜せ仲居はお馴染のお清さん初め親切の人揃ひであり全く家族同伴氣樂なく出入し得る店で珍らしく勉強すると人氣をよんでゐる

三浦洋行

新築店舗落成

新京草分けの商店として知の三浦洋行は永樂町一丁目新築中の本舖愈よ落成し大通り從來の店を支店とし半新舖に移轉したが永樂市街目貫の角に四萬圓余を投じた同本店は實に堂々たるので店主の敎養よるか、された食糧百貨店元氣の良揃と侯つて顧客本位の親店と評判よく一層の繁榮を見せてゐる

大島居家不幸

東省實業株式會社新京支店大島居武麿氏二男厚(五歳)は新京醫院入院中のつたが六日午後六時死去し、八日午後四時市内日本橋通り九の自宅で神式により告別式が執行される

拾ひもの

▲市内東一條通十三番地青木太郎氏方川崎塩太郎氏は去る十月廿七日滿鐵病院内便所近かくで赤皮製蟇口一個在中現金二圓十五錢滿洲メダル一個五厘印紙三枚を拾つた

▲城内四道街客馬車夫關官永氏は六日午後十時ごろ馬車に客が落してゐる支那文辭全書一冊を拾つた

盜難屆

▲敷島町二丁目二五ノ三福田米次氏方所有中古自轉車一台(價三十圓)を五日午後五時ごろ自宅内に留てあるを竊取された

山内氏の救出見合せ

(ハルビン六日發國通)去る十月十八日濱江號事件の捲ぞへを受けて同江附近で匪賊に拉致されたハルビン商品陳列館員山内忠三郎氏の救出に向つた友人永田政人氏は富錦を根據地として本邦參事官等と共に救援隊を組織し奧地方面で救出に奔走してゐるが、最近に至り同江地方は匪賊の横行激しく、キイラ取りがミイラになる恐れがあるので一應救出から手を引く事にして救援隊は根據地富錦へ空しく引上げた、從つて山内氏奪回は當分見込みないと思はれる

幽蘭女史の救出有望

(ハルビン六日發國通)本庄幽蘭女史を拉致した匪首東山好は食糧難と部下の離散によりすつかり意氣消沈し北鐵東部線馬橋河在住の邦人小出氏を通じ協和會役員事務所で歸順取計らひを懇請してゐる、女史は日本でも有名な人物だから他の人質とは別に取扱ひ特別の待遇をなして居ると傳へてゐる、小出氏は幽蘭女史の救出稍有望とし、東山好に對し無條件釋放を要求すると共に向ふ折柄女史のため綿入れの滿洲服を買求め使者二名に持參させ東山好の許へ屆けた、匪首東山好が順調に歸順すれば今日迄全然絶望視されてゐた幽蘭女史の救出が實現されはしないかと觀られるに至つた

李公殿下御負傷

(東京六日發國通)世田ケ谷野砲兵第一聯隊附砲兵少尉李公殿下は四日栃木縣下に行はれた演習で落馬され後頭部と右肩に打撲傷を受けさせられたが幸ひ輕傷であつた

永寶鎭で屯墾隊員戰死

(ハルビン五日發國通)四日深更永寶鎭屯墾隊長よりの報告に依れば同隊員原籍山形縣東村山千布村奥村助吉君は去る十月廿二日午前六時永寶鎭農場東南方地區に於て匪賊討伐中、壯烈なる戰死を遂げた

佐郷屋、松木の爲

再審理を申請せん

鵜澤博士等協議中

(東京六日發國通)既報の如く午後十一時より開廷された佐郷屋、松木に對する上告棄却は泉二裁判長より上告棄却の判決があり兩名の刑は前審通り確定したが關係辯護人鵜澤博士特別辯護申請人頭山翁等は同日午後三時日々谷陶々亭に對策協議のため會合意見交換の結果再審理を申請することに略々意見一致を見た模樣である

正義團

鐵嶺支部入團式

皇姑屯の發會式

大滿洲正義團の鐵嶺支部では同支部設立以來日まだ淺きに拘はらず其の團員の數は早くも一千名を超過するに至りたるを以て來る十一月七日午後二時より同地公會堂に於て酒井主盟を迎へ盛大なる入團宣誓式を擧行の由

尚同團では奉天市街皇姑屯に第二十二支部が設立したので去る十一月四日午後二時から皇姑屯假致齋堂公所に於て同團小林常務理事及び多數の本部指導員臨場のもとに盛大なる發會式が擧行された、式は支部長の開會の挨拶に次いで支部幹部への役員任命狀の傳達小林常務理事の一般團員への訓詞がありて最後に滿洲國及び大滿洲正義團の萬歳を高らかに三唱して同三時に散會したが出席の支部團員は支部長以下二百余名に達し盛會を極めた

東京中央郵便局愈よ六日店開き

(東京六日發國通)東洋一の郵便局として誇る建築中の東京中央郵便局は此程竣工し六日店開きをなした

大連港も大荒れ

英國汽船吹き流さる

(大連七日發國通)五日夕刻より旅大を襲つた秒速十九米の强風の爲電信電話の障害、家屋建造物の損傷等各所に續出したが大連港でも同夜來更二十七番バースに繫留されてゐた一萬噸級の英國汽船レーニビス號が風の爲繫留綱が切斷船體は二十一番バースに吹き流されわ折柄同バースに繫留されてゐた滿鐵小蒸氣船は岸壁とレーニビス號にはさまれ押し潰されんとしたが應急處置により船體の一部を破壞したのみで急を免かれた

不敵な僞造貨幣犯人

金州で逮捕

(大連六日發國通)金州警察署は數日前金州會南街に於て僞造貨幣を以て豚肉を買はんとした山東生れ住所不定黄可義(三八)黄河金(三六)の兩名を逮捕取調べの結果、兩名は同地黄某と共謀本年八月より十月迄金州に於て石膏で鑄型を作り銅管を熔解して一圓大洋、五十錢銀貨を僞造、銀粉を塗抹して行使して居たもので、僞造總額一萬圓に達し殆んど全滿に散在して居る模樣である

僞造十圓札

使ひもせず捕はれた男

(大連七日發國通)僞造交通銀行券の知情行使犯人として搜査中の大連市信濃町九十四番地和順號郭嵩山(四六)は六日午前二時卅分白雲山馬車收容所に潜伏中を逮捕された、同人は僞造十圓紙幣九十一枚を所持してゐたが取調べの結果一枚も行使されてゐなかつた

京の福太郎

八日から長春座

落語から萬歳へ、萬歳から漫劇へ進出し萬に大衆娛樂の殿堂としての漫劇に新機軸を生んだ笑ひのキング、人氣千京の福太郎は笑劇、萬歳、劍劇、新舞踊、小唄舞踊、総レビユー等に突殺陣を編成して來京、八日夜から三晩長春座で開演する(寫眞は一座の娘達)

けふの銀相場

鈔票對金票	二〇四・八五
現大洋對金票	一〇四・四〇
國幣對金票	一〇四・一〇
現大洋對鈔票	五〇・一〇

慶安異聞 艶魔地獄

(舞臺上演映畫化) 玉水三郎
(畫) 長谷川小信

(八十五)

肝煎りの耳(五)

飴屋の太吉と林藏の二人は、十兩の金を見せられて、一も二もなく大瀧道十郎の言ふ所に從つた。

「ぢやア旦那、直ぐ眼鼠りやせうよ唐犬の方へ……」

「ナーニ知つた顏の三下奴で、口の輕い奴がありやすから、直ぐでさア」

それから三人は、半刻に亘つて密談して別れた。

大瀧方を出て、左右に別れた太吉と林藏、頷き合つて暗默の中に探偵方針を定めてゐた。

林藏は豫て知る唐犬の身内で、御網の傍に此夏から山の手へ轉地してゐる、赤坂氷川の出ッ尻清兵衛の家へ訪ねて來た。

「清兵衛自家かい」

「ヤア親方でしたか。能く來て下せえやした。何か御用で……」

「フーム、少し手前に聞きてえ事があつて來た」

「さうですかい。遊んでる時分にや、親方衆に來られると、ギクりするんだが、斯うして眞面目な時にやア、怖くも何ともねえ……」

アッハヽヽヽ

「何うだい、景氣は」

「ヘイ、お庇でズット好いんで、此景氣なら霜月まで養生したら、來年は起るめえッてね。お醫者も言つて呉れやす。何しろ土地を變へりやア、景氣に可いと知りながら出來ねえ相談でして、ツイ毎年怠つてやしたが、今度は思ひ切つて唐犬の兄貴に賴んで、暮しの方を引受けて貰ひやしてね」

「フーム、さうか。同じ唐犬の兄分でも、手前は幡隨院の讓りで、權兵衛にやア年から言へば、手前の方が兄分だからな」

「ナーニ俺ア腕がなし。意氣地なしで唐犬の兄貴にや及びやせん」

「時に清兵衛、今日手前に聞きてえのは、あの淺草新鳥越の部屋の事だが、何でも此頃男を集まつてあるといふ事だ。誰に聞いても判らねえんだが、お前の方へは、知らせる者があつたらうな……なア清兵衛、手前にやア此林藏は、隱し分位になつてやつた事もあるんだ。それだけ言つて呉んねえか……何も召捕るの吟味するのと言ふんぢやねえ。アヽした家にや一人でも、妙な客人があつたとすると、乃公達の耳に入れて置かねえと、勤めの怠りになるんだから……

……なア清兵衛」

常にない猫撫で聲であつた。清兵衛は笑つて、

「林藏親方にも似合はねえ。夏から冬まで出入りしねえ者に、そんな事を聞くつてえのは、無理ぢやありやせんか」

「無理かも知れねえが、手前は女房子もなく、斯うして養生して遊んでる體だ。鳥越から見舞がてら毎日のやうに若い者が來るぢやねえか。一飯草鞋錢の旅人ならいざ知らず、乃公達が聞き出す程、永い逗留の客人が手前の耳に入らねえといふ筈はなえ」

「親方、待つてお呉んなせえよ。さう言はれて見ると、聞かれねえ事もねえ」

「ソレ見た事か。誰だ」

「唯浪人と許り聞きやしたが、隱れの客人として大事にしてゐるさうです」

「浪人……一人だけか、連れはねえか、子供はねえか」

「其處までは知りやせんが、何でも觸り身らしい話です」

「何處の浪人だ」

「知りやせん。强つて知りてえなら。親方二三日待つて下せえ」

「イヤそれが急ぐんで、待てねえのだ。お庇で判つた又來るよ」

ブイと飛び出した林藏は、黑の太吉へ報告すべく、太吉を探したが、其の日は會へなかつた。

もう其時には太吉は鳥越の部屋にゐる、麻布の幸太と碑文谷の安藏を、觸原の寮トロへ引ッ張り出して、師は本能寺の世間話で酒に飲ませてゐた。

十一月八日 水曜 戊寅 大安 平 參宿
舊九月廿一日

●一白の人 注意せざれば目上の引立に離るゝことあり 庚と癸と寅が吉
●二黑の人 專斷は過失を生ずる恐れあり目上を賴み吉 甲と乙と亥が吉
●三碧の人 猪突する時は好運を破壞するに至るべき日 庚と癸と寅が吉
●四綠の人 言行一致せぬ爲め禍を生じ易し又病盜難注意 辰と庚と寅が吉
●五黃の人 遊惰に流れ家道の衰微を招かんとする凶日 卯と丁と未が吉
●六白の人 諸事節制を加へ一家を司れば漸次に良化す 甲と乙と丁が吉
●七赤の人 福祿身に集る幸運日なれば大慾は愼むべし 乙と丁と未が吉
●八白の人 思ひ内に有れども發し難く無爲に終るべし 甲と乙と戌が吉
●九紫の人 內輪に苦勞ある日諸事改善の準備を爲すべし 丙と丁と庚が吉

新京日日新聞
發行所 新京日日新聞社
發行人 編輯人 印刷人

日印新條約

假調印は近く ロンドンで行ふ

關税の改正はいつでも實行の段取り

【デリー六日發國通】日印通商條約は來る十日で延長期限が切れる事になつて居るので新條約の起草問題が目下當事者間に考慮されてゐるが印度政廳は今迄外國との通商條約を締結し合つた經驗がないので、新條約起草に當つては英國政府側專門家の勸告指導を求める筈であつため新條約の假調印は幾分遲れるものと觀られて居る、而して關税の改正に就いては新條約の締結を俟たずして之を實行し得る手筈になつて居る、新關税に關する法案も來る二十一日の立法議會開會迄には提出の準備が整ふものと觀られてゐるから問題はない譯である、尚新條約の假調印はロンドンで行はれる筈である

互惠的求償制

從來の一般的條約とは根本的に相違す

【東京七日發國通】日印會商は五十日の折衝の後成立せんとしてゐるが、新日印通商條約は輸出入品に對する關税率を規定する樣な從來の一般的條約と本質を異にし、最近の傾向たる相互主義的な求償制の原則により日印主要輸出制度の求償原則により、日印兩國の需給關係を基礎とし決定せる互惠的取極めでその有効期間は政府民間で三年と決定し澤田代表に訓電する筈である

劉軍長罷免 査辦に附さる

【上海七日發國通】國民政府は六日附命令を以つて陸軍第二十三軍長劉存厚は赤匪の攻擊に會ひ直ちに防地を捨てゝ逃走せる廉を以つて免職の上査辦に附する旨公布した

警務指導官の先發隊 チチハル到着

【チチハル七日發國通】江省警務指導官六十四名の先發隊として並松警佐外三十七氏は七日午前七時來齊、直ちに警務廳を訪問し挨拶をなした、尚警務廳に於て向ふ一週間任地の事情其の他警務に關する講習を受けたる後各縣に配置される筈であるが殘りの二十六名は十五、六日頃來齊の豫定である

在京青年將校 時局問題協議

相當强硬論も出づ

【東京七日發國通】在京陸軍青年將校を中心に尖鋭分子卅名は昨六日午後六時神田の富士見ホテルで會合し、時局問題につき協議の結果

一、荒木陸相主張の國策貫徹に努力する
一、國家革新運動の先覺者の精神を繼承す
一、海軍被告の主張するロンドン條約の統帥權確立を支持する

等一部少壯將校より相當强硬な意見が出たが中央部の將校がこの際不穩當な行動を避ける樣勸說し十時半散會した

曹秉森少將赴任

駐日公使館附武官曹秉森少將は六日奉天發朝鮮經由で赴任の途についた

民間協議會 第四次會商

【マンチエスター六日發國通】日英民間協議會第四次協議會商は六日午後三時よりマンチエスター商業會議所で開催された、審議三時間半の後午後六時半散會、七日更に會議を續行することになつた

小磯參謀長 本月末上京

【東京七日發國通】滿鐵改組案其他重要案件を携行して上京交涉することになつた小磯關東軍參謀長は岡村參謀副長が北平より新京に歸任後出發上京する事になつたので同參謀長の上京は本月末頃になる豫定である旨陸軍當局に報告があつた

內政國策の關係閣僚會議

きのふ第一回を開催

【東京七日發國通】農村思想教育等に關する內政國策樹立の爲の關係閣僚會議は愈よ七日定例閣議散會後、第一回會議を開くことに決定したが第一回の內政閣僚會議では農村問題を議題として自由討議を行ふ豫定であるから當日は首相より內政閣僚會議を開くに至つた經過に就き一場の挨拶あつて農相より豫ねて農林當局に於て調査中であつた農村對策に就き、應急對策、暫定對策、恒久對策の三項に分けて詳細なる說明をなし、之を中心に意見の交換を行ふことになる模樣である

一億餘の收入不足

孔財政部長演說

【上海七日發國通】六日の中央紀念週間で新財政部長孔祥熙は左の如き財政演說をした

支那の稅收は相當多額に達するが外債が絕大な額に達するため償還不能のもの多數ある現在の收入は毎年四億八千萬元、支出六億二千八百九十二萬元、不足一億千餘萬元である、將來の財政計畫は經費節減と同時に稅源を培養し國民の繁榮を計らねばならぬ更に社會經濟を安定さすために消費稅を引上げるつもりだ

海軍が對支諜報機關新設

機關長に北岡大佐

【佐世保七日發國通】當地海軍では十五日の海軍異動は陸軍の在滿特務機關同樣支那に關する諜報機關の新設を爲すこととなり、最初の特務機關長格として霧島艦長で部內有數の支那通たる北岡春雄大佐を少將に進級、第三艦隊司令部附とし新任することに決定した

不可解極まる― ソ聯に反省を促す

ユレニエフ大使の抗議に 外相却つて難詰

【東京七日發國通】最近日ソ關係が緊張しつゝある折柄六日駐日ソ大使ユレニエフ氏は三週間振りで外務省に廣田外相を訪問し、午後四時半から七時半に至る三時間に亘り日ソ兩國關係に關し、隔意なき意見の交換を遂げたい本日の

『會見』ではユレニエフ大使は先づ日本の駐滿部隊の飛行機がソ聯邦國境內を飛翔したとて抗議したが、外相は軍部側の調査に基き我が飛行機のソ國領土內侵入の事實なき點を言明し、更に先般ソ側が一方的に怪文書を發表したる重大なる不信行爲を詰り、今後ソ側に於て此の點に對する考慮を拂ひ誠意ある態度を示めさゞる以上我國としては通常なる外交的折衝を行ひ難きことを難詰した、右に對しユ大使は現在日ソ關係はソ滿國境紛爭

『問題』を始め種々の懸案山積し、特に北鐵交涉も停頓中なるを以て何んとか之を打開したいから日本側も適當なる措置を講ぜられ度き旨希望した

が、外相は現在日ソ間關係の緊張狀態はソ側が怪文書を公表したり赤軍を國境へ集中したりして不安に日、滿側を刺戟するが如き態度を執れるに起因するもので、ソ側に於て若し日ソ國交の現狀打開を望むなら自ら適當なる方策あるべく、現に米國は今回太平洋岸にあつた大西洋艦隊を大西洋へ廷回せしめたるが如きその

『理由』は何れにあるにせよ日米國交の緩和、好轉に重大なる寄與をなしてゐる次第で、ソ側にして誠意を有するに於ては速かに適當の手段に出ずべきであるとてソ側が極東の事態に對し慄きつゝある認識の誤れる點を指摘し、その反省を促した

羨ませる 白系露人の反ソ傳單

何れも滿洲國謳歌 ソ聯領事から取締方を要望

最近白系露人がソ聯國境を越へ王道樂土の大滿洲國を謳歌し反ソ傳單並に平和鄉のハルビンの

『寫眞』を持込み餓死戰線にある一般農民及赤軍下級兵士に配給し大滿洲國で生活してゐる白系露人の幸福を見せつけてゐるためソ聯に與ふる影響甚大なる理由でこれが取締方法を滿洲里ソビエート領事から滿洲國々境警備隊長に宛要望するところがあつた右傳單寫眞の內容を見ると左の如くで

寫眞
一、ソフイスカヤ寺院の尖塔
一、食料品店內の食料品
一、パンヤの店先の光影
一、松花江夏季の歡樂
一、教會前における神徒の群
一、寺院內における敬虔なる新禱

など傳單にはソ國より程遠からず滿洲第一の大都會ハルビンの街であり食料品店內は食料品で山をなしてゐるハルビンの

『居住』者は欲する時は晝夜を問はず思ふ儘に買ふことが出來るハルビンにはかゝる店が百軒もある等々

當面の諸問題 その他を附議

商工會議所議員會 總會は來る廿八、九兩日に

新京商工會議所では去る四日午後三時から議員會を開いたが當日の議事錄は左の通りである

出席者

中山佐吉、丸山直助、石崎廣治郎、佐藤精一、前田伊織、近江清一郎、栗原重康、安間安五郎、靑木哲兒、杉之原孝喜、吉田廣盛、寺內淸次、西村淸兵衛の諸氏、大垣書記長參加

報告事項

一、第十七回滿洲商工會議所聯合會決議事項に付各方面に建議要望の件報告
一、滿洲商工會議所理事會經過報告の件

附議事項

一、大同林業公司設立問題に對し滿洲木材同業組合聯合會より來狀の件
彼末議員より要點の說明あり審議の結果本來狀の趣旨を支持することに決定
一、日本商工會議所定期總會開催通知接受の件
一、日滿實業協會創立總會開催通知接受の件
前者は十一月十四日より二日間、後者は十七日より二日間何れも東京商工會議所に於て開催代表出席方通知に接したり、審議の結果石崎副會頭出席することに決定
四、當所定期總會議案に關する件
一、事務報告の件（自昭和八年三月一日、至十月卅一日）
一、昭和七年度木材產目錄報告の件
一、昭和七年度收支決算報告の件
右の內第三項收支決算に付ては安間議員より監査の結果正確なる旨議場に報告其の他第一、二項共此異議承認を了し定期總會に附することに決定
五、入會申込に關する件
和洋雜貨商 茅本喜一
婦人子供服商 赤垣淺四郎
自轉車商 大本六二
塗料商 龜岡忠義
右何れも承認せり
六、滿鐵運賃合理化運動に關し安東商工會議所會頭來所援助方依賴の件
十月廿七日安東瀨こ口會頭外二氏來所詳細なる運賃比率表を示し之が合理化に關し援助方申出ありたるを以て審議の結果更に文書の依賴に接したる上適當なる方法を執ることに決定
七、書記長名を理事に變更の件
十月卅一日奉天に開催の事務協議會の申合により書記長名を理事に變更方の件審議の結果字句に拘れず理事名を使用することに決定
八、當所定期總會開催日時に關する件
十一月廿八、九の兩日中に開催することに決定
以上を以て同日の議員會終了午後六時半散會

有望な三角地帶に 視線を注げ！

朝鮮からの歸途來京した 金福鐵路公司支配人 兼井鴻臣氏語る

安東と關東州および南滿の一端を結ぶ〇〇〇〇〇のため奔走しつゝある金福鐵路公司支配人兼井鴻臣氏は七日

『飛行』機で奉天から來京ヤマトホテルに入つたが氏は往訪の記者に左の如く語る

今度は朝鮮方面に出かけた歸り道だが宇垣總督および井上守備隊司令官などにお目にかゝつたところ何れも多大の共鳴を受け、宇垣總督の如きもわざ〱官邸內で記念撮影をなし今後とも京城に來ればぜひ立寄れといつた具合で恐縮した次第だ此地では小磯參謀長および丁交通部總長にはぜひお目にかゝりたい積りである

『今度』の要件は全く〇〇〇〇〇のためであるが自分は機會ある毎に安奉線以西所謂三角地帶の認識を深めたいそうして北へ北へとのみ走り易い世間の視線を彼の三角地帶に留意して戴きたいと思ふ、彼の三角地帶は四百方里、人口約百萬を擁し米、大豆、高粱、包米、落花生葉煙草など數多特產物を有してゐるが、中でも探礦の如きは將來最も着目すべきところで、これに對して國民的の關心が足りないといふことは遺憾なことである、〇〇〇〇〇の

『實現』によつて吾等日本人のための新天地が生れることを思へば苦心の裡にも誠に前途欣喜に堪へないものがあり此際ぜひ成功させたい積りである

因に同氏は八日午後四時三十分發で一先づ歸連の豫定

滿鐵改組案の意見全く一致

中央部の意見を纏めて 愈よ來議會に提出

【東京七日發國通】八田滿鐵副總裁と小磯關東軍參謀長並びに滿洲國首腦部の多邊的折衝によつて愈よ滿洲國全經濟機構の大動脈たるべき意義を有する各統制產業部門即ち鐵道、炭礦、製鐵、輕金屬、石油、電氣、銅、諸事業の綜合的統制經濟をなすべき特殊會社として大滿鐵組織案を

『完全』に滿鐵、關東軍及び滿洲國三當局の意見一致を見るに至り更に最後に殘された問題たる鐵道を除く、前記各產業部門の事業會社を滿洲國政府組織法により實業部所管の滿洲國法人組織となし、同一事業を夫々同一會社に統一包括せしめ之に獨占的地位を與へんとする根本方針に圓滿な解決を見たので八田滿鐵副總裁は急遽大連に歸り協議の結果、重役會議に報告後直に東上監督官廳に經過報告すると

『同時』に小磯關東軍參謀長も東上報告する事になつた、斯くて中央部關係各機關の聯合協議會を開き最後的決定を行ひ諸種の準備を完了の上で來る可き議會に關係諸法案を上程通過せしめ、來春早々滿鐵の歷史的大改革案が實施の運びに至る事になるが〱により日露戰爭以來過去四半世紀以上に亘る滿蒙文化開發の上に强大な足跡を印した南滿洲鐵道株式會社は滿洲國建國の新事態に善處し

『全面』的飛躍を行ひ、日滿兩國の經濟的發展に貢獻するためその機能を充分に發揮することゝなつた、因みに新會社の總資本額は廿億圓を突破する見込みである

經濟調査會の新京移轉

今月末頃實現か

【大連六日發國通】現在大連に在る滿鐵經濟調査會を新京に移轉する計畫は此程漸く準備整ひ今月末或は十二月中に愈よその新京移轉が實現する事に決定した

天氣と氣溫

けふの天氣南西の風晴一時曇り、七日の氣溫最高二度最低零下八度四

乾盆子對岸で 滿人二百名虐殺

益々募る赤兵の暴擧

【ハルビン七日發國通】確聞する處に依れば十月初旬黑河下流約二日廿支里乾盆子の對岸ペトロフスキーに於る滿人部落へ赤衛兵若干名現はれ物資を掠奪し、それより三四日後再び來襲して部落を燒き拂ひ住民約二百名を虐殺した事實あり、滿洲國側では目下詳細調査中であるが、證據判明次第嚴重抗議をなす筈である、又數日前にも黑河上流西十支里三道河に赤衛兵一名暴れ込み逮捕された事實があつた

目覺ましい滿洲國の治安回復

過去一ケ年間に 大匪全く跡を絶つ

殘るはただ夜盜の類のみ

民政部警務司の發表によれば本年度の全國治安情況は日本軍の分散配置、治安維持會の活動等に依りこれを大同元年度に比すると著しく良好な狀態に進み治安確立に伴ふ一般人民の生活安定、産業開發に伴ふ匪業更新は特に目覺しきものがあり、着々王道政治の實績を擧げつゝあるが試みに本年九月における匪賊狀況を大同元年度同期に對比すると元年度に於て熱河を除く奉天、吉林、黑龍江三省の匪賊は二十三萬余これが本年度に於て平定日向淺き熱河省の一萬六千を加へて全國の匪賊總數六萬七千に減じこれを集團的に見れば前年度に於ては匪首の總數六百十二名で平均三百七十六名の部下を有したが、本年度は匪首の總數六百二十九名なるも匪首の有する部下は平均僅かに七十六名に過ぎず最近における滿洲國內の匪賊は單なる夜盜の類に墮しもはや大集團的匪賊の存在は全く許されざる狀態に立至つてゐる

するため軍政部では民政部並に總務廳と協議の結果警務機關の改革を中心に各種の治安恢復工作を近く行ふことになつた

吉林省内大討匪に 滿軍頻に活躍

各方面とも水も洩らさず 到る處凱歌が揚る

今次の吉林省內匪賊大討伐には日本軍指導下に滿洲國軍が大活躍をし顯著なる戰績を示してゐる、討伐

『參加』部隊は吉興將軍の率ゆる全吉林軍三萬と江省から應援參加の三〇〇〇、それに靖安軍〇〇隊、騎兵〇〇〇であつて總兵力約五萬强、正に滿洲國軍の半數を擧げてゐる有樣で吉林省內各地區一齊に十月中旬より討匪を實行し既に第一期作戰を終り第二期作戰に移つた、各方面共着々剿匪の目的を達しつゝあるが就中李振聲少將の率ゐる綏地區部隊は小穆稜河、北碾穆稜站北方附近に於て小金山匪を擊破し李文炳少將の率ゐる濱江地區の軍警は採朝陽匪を逮捕したる外四十數頭目の

『歸順』を迫り朱少將の指揮する吉林第二〇〇〇部隊は吉海線煙筒山に於て巨頭殿臣匪を降伏せしめた(殿臣は自警團に射殺せられた)今次討伐の成果を大ならしむる爲め奉天省軍は奉吉省境に〇〇〇を〇〇〇して逃匪の南方脫出に備へ、于琛澂中將の依蘭地區部隊(吉省北部)の牡丹江から完達嶺間に布陣して敵の北方脫逸を防ぎ、又黑龍江北岸湯原附近の江省軍も警戒を嚴にする等各方面水も洩らさぬ討匪陣を立ててゐる、第二期、第三期と討伐の進捗するに伴ひ吉林省の根本的肅淸を見るは確實だ、因みに滿軍の

『討伐』振りを視察せし日本軍將校の言を綜合すると滿洲國軍隊も軍容大いに刷新せられ其軍紀も逐次嚴正となり戰鬪力も著しく强化せられたる模樣で特に討伐日滿兩軍隊の融合振りや官民の親和振りは隔世の感ある由である

治安恢復工作

吉林省では目下日滿兩軍で匪賊の大討伐に全力を注ぎ既に平定近きにいたつたがなほ討伐は繼續すべくこれにともない政治的にも大工作を必要と

阿城縣城に 青年團を結成

去る三日ハルピンに程近き阿城縣城においては今回青年團を結成し王道の實踐と共に正義を天下に求め大亞細亞主義の實現を期する綱領を發表し青年の修養と一般民衆の啓蒙に從事することになつた

土匪橫行甚しく 乾安防疫班は立往生

去る三日吉林省公署警務廳長より民政部衛生司に達した情報に依れば扶餘縣に滯在中の乾安防疫班は匪賊橫行激しいため乾安行きは事實上危險であり、さりとて扶餘縣より警備隊を附して送ることも不可能であり、また扶餘縣より電信電話で乾安の狀況を知ることも出來ない、尙は十月六日扶餘縣へ派した防疫員三名は此程吉林省公署に引揚げ今回新に乾安に派遣した八名は扶餘縣に滯在防疫に從事してゐるが乾安行きが可能となるを待つて同班を二班に分け一部を乾安に派遣する模樣である

教員講習所生 公學校を參觀

滿洲國教員講習所生五十名は七日午前九時新京公學校に出掛け午前中三時間同校教授振りを參觀し午後大同公學校長の講話を聽き歸所した、なほ殘り約五十名の者は來る十日同樣參觀をなすはず

兒玉博士邸事件 取調も一段落

〔大連七日發國通〕兒玉博士邸事件のヒロイン兒玉勝美夫人(二八)及び中薗秀雄(三五)の拘留期限も滿了に近づき大連檢察局の取調べも一段落し一兩日中に起訴されることとなつた、勝美夫人は一時保釋出所說が傳へられたが檢察局は保釋を許可しない方針である、尙大內辯護士邸に傷魂の身を養つて居る兒玉博士は只管謹愼して斷罪の日を待つて居るが勝美夫人とは斷然離婚することを意思表示した

不良輩に用心！

滿人を襲ふ

最近市內各所で警察官を裝ひ滿人通行人を呼止め人通りの繁くない處に連れ行き身体檢査をすると稱し懷中、ポケツトなどに手を入れ所持品を捲き上げる不良徒輩があるを探知した新京署では刑事隊を活動せしめ犯人捜査に努めてゐる

新京城内外荒しの 頭目遂に逮捕

四平街に出かけた新京署員 昨夕意氣揚々歸る

夕刊所報、新京城內外荒しの拳銃强盜團一味山東省生れ李崇田(三三)の逮捕供述にもとづき新京署司法係河本警部補は刑事三名を連れ六日午前六時新京發四平街に赴き捜査の結果、頭目姜子禮(二七)部下馮如淸(三七)白喜五(三〇)の三名を逮捕し意氣揚々として午後六時五十五分新京着列車で歸署した、同署では倉田司法主任を中心にし各刑事隊は喜びに溢れ祝盃をあげた

活動の賜もの

倉田司法主任歡ぶ

右に就き倉田司法主任は語る
昨年末から本年にかけ續々として拳銃强盜團が附屬地を始め城內に出沒し市民を脅した以來當署としては不眠不休で大活動を續けてゐたが刑事隊の活動宜しくひられ六日午後二時成松刑事隊が李を逮捕するに至り遂に大頭目姜子禮以下二名を逮捕することが出來たことは誠にうれしい、これは皆んな部下の奮鬪の賜であり自分としても感謝に堪へない次第である

大新京を語る(四)

國都大新京と都市計畫

國都建設局長　阮振鐸氏

道路と水道

道路は交通事故を防ぐことと土地の利用價値を減ぜぬ樣に、二線直角交叉に重きを置いて居ります。其の幅員は幹線は六十米乃至五十四米から二十六米であります

主なる幹線路は步道と高速度車道と緩速度車道とに分けることとし四列に並木を植ゑることになつて居ります

總て道路には架空線を禁ずることにしますから、並木はゆつたりと延び滿洲國の伸びくした氣分をも示すことになりませう。小賣商店街は皆通幅員十八米で幹線に副うて區路線式に住宅地內に走つて居ります。百貨店の壓迫等を考慮し且つ其の繁榮の爲に特に小賣商店街は少くしてあります。公園は建設計畫の一の特色で一帶に亘る土地の起伏を利用して窪地を自然のまゝ採つて居りますので、何れも長く連續して住宅地域商業地域內に入り込んで居ります。最も長い黃龍公園の如きは東西四キロ米もあります、綠樹鬱蒼となることは勿論其の中には所々に濁水を湛へる大きな池が作られ市民の慰安所となります。次に水のことを御斷りしておきますが實は何の心配もないのであります

南滿洲鐵路附屬地はもと三萬人に對して一日三千屯の水を供給する地下水採取で來ましたが急に人口が增して四萬以上にもなつたから水が足りなくなつたのであります。其れが評判となつて新京一帶には水がないと心配する向きもありますが、私共の確實なる調査によりますと建設局計畫地域一帶の地下には豐富なる水があり更に伊通川の伏流をとることも出來るし、伊通川の上水をとることも出來るのであります。新京の人口が五十萬になつても優に之を養ひ何等憂ひはないのであります それ以上百萬の人口ともなれば東方飲馬河と云ふ河から幾らでも水を取つて供給出來ます。此の間南嶺西側に井を試掘しましたところ一つの井で一日三千屯即ち人口三萬五千人を養へる豐富な湧水量を見出した樣な次第でありまして現在試堀中の井からも今後さしく湧水することと思ひますそれから土地の拂下のことを簡單に述べます

非常時日本を貫く 精神作興運動

新京でも十日新京神社で 盛大に擧行される

大正十二年九月關東大震災、思ひ起すだにゾッとする、その直後の全國民恐怖と精神不安、暗憺たる思想、つひに畏くもこの國情について

『宸襟』を惱し奉り　大正天皇にはその年の十一月十日國民精神作興詔書渙發し給ふた、今年は丁度その十周年記念に相當するので全國一齊に中央教化團体聯合會主催となつて記念精神作興週間を實施する趣である、新京でもこれと呼應して「非常時日本を貫く精神作興國民總動員」をスローガンに大々的に記念行事を行ふこととし七日午後二時から地方事務所々長室に各

『教化』團体代表者十數名(各學校長、警察、婦人會、各神社佛寺)參集、當日の行事を打合せた、それによると新京神社で全市民各團体參列の下に記念式を行ふ、式は十日午前十時から始まり

一、君が代合唱(同時に國旗揭揚)
一、詔書捧讀(東商業學校長)
一、訓辭(未定)
一、萬歲三唱

團体の整列順序は商業、中學、女學、小學(寺町西廣、寺訓)其の他團体は各々適宜に整列し嚴肅裡に進行する、右式場には

『全市』民一人殘らず參列してするやうに望んでゐるがなほ滿洲國日系官吏も進んで參列し國民總動員の實を擧ぐべきで、この記念行事の連絡として十二日午前六時半から誠忠碑前で市民の早起會もなされることとなつた

亞細亞橫斷へ

井上氏愈よ出發す

既報、昨年七月渡滿、經濟狀況を視察中であつた大日本國防少年團員井上亨(一九)氏は去る三日午後通遼に到着、五日早朝赤峰に向け出發したが氏は熱河踏破後ゴビの沙漠を橫斷し來年夏蒙古に西藏よりアフガニスタンに進出し、アジア獨立運動の火蓋を切る筈であるが同氏の行動は多大の興味を以て見られてゐる

聯合婦人會

總會の打合せ

新京聯合婦人會では來る二十日總會を擧行するのでこれが打合せを七日午後零時半から新京高等女學校で行つた出席者三十名余りで二時半終了した

蒲團下の財布紛失

長崎屋洗布所の店員に嫌疑

市內梅ヶ枝町四丁目二十八番地材木商安藤義夫氏方へ六日午後零時三十分ごろ長崎屋洗布所店員區國傳次郎(二二)が集金に來たため妻女カネさんは財布から一圓を渡し、同財布(在中百七十圓、ロシヤルーブル百圓)を蒲團下に敷いておいたところいつの間にか竊取されてゐるを發見し驚き直に新京署に屆出た、同署で捜査の結果區國の所爲と睨み同人を逮捕取調中である

革命記念日

平穩に過ぐ

七日はソ聯ボルシエヴイズム革命の十六週年記念に相當するのでソ聯邦內は勿論滿洲各地の赤系露人も記念式を擧行したので日滿當局では時節柄滿洲國內赤系露人の動靜について警戒したが數日前ハルピンに於てアジビラを撒布したものがあつたのみで當日は各地とも比較的平靜裡に終始した、尙北鐵寬城子でも赤系露人が多數北鐵クラブに集合革命を謳歌し映畫、ダンスの餘興を開催したのみで平穩であつた

山崎齒科醫院

營業時間變更

中央通り西公園前山崎齒科醫院では從來午前八時から午後八時まで營業してゐたが十一月一日から四月三十日まで午前九時午後六時までに變更したなほ日曜祝祭日に限り午後は休診で午前中營業をなす

居住消息

▲佐藤惣三郎氏(山形縣人會社員)錦町二丁目十番地第二號十三へ

▲赤池義男氏(靜岡縣人滿洲國官吏)大和通り五十三番地へ
▲荒牧豐氏(福岡縣人表具師)延吉から浪速通り二丁目十八番へ
▲岩橋憲一氏(滿國官吏)大連から入船町三丁目十九番地へ
▲庄下文夫氏(三重縣人滿國官吏)梅ヶ枝町三丁目十番地ノ三竹內方へ
▲布村茂氏(富山縣人滿洲國官吏)仁川から同上
▲景浦哲造氏(愛媛縣人滿洲國官吏)同上
▲入江達也氏(秋田縣人)室町二丁目十七番地ノ二號へ
▲西紋太郎氏(鹿兒島縣人會社員)大連から富士町六丁目二番地十九號へ
▲井上平治氏(神奈川縣人)富士町六丁目二番地へ
▲柵瀨三郎氏(岩手縣人)東五條通り二番地へ

轉居

▲村田清二氏吉野町三丁目八番地ノ二から錦町二丁目十番地滿電第二號社宅三十六へ
▲佐古政雄氏春日町四丁目三番地から住吉町二丁目六番地へ
▲畑山總三郎氏錦町四丁目から東一條通り四十二番地へ
▲泉和末吉氏羽衣町一丁目四十六番地から花園町三丁目三十六番地ノ一へ
▲荒木芳郎氏三笠町四丁目二十六番地から羽衣町一丁目二十六番地へ
▲伏見善太郎氏平安町一丁目五番地から梅ヶ枝町四丁目四番地へ
▲佐々木愼氏三笠町三丁目四番地から大和通り五十三番地山田方へ
▲今井金政氏東一條通り二十番地から浪速町二丁目十八番地へ
▲瀧田和吉氏曙町十一番地から梅ヶ枝町三丁目十番地ノ三へ
▲池田儀雄氏錦町關東軍經理部派出所から關東軍經理部官舍第五十四號へ
▲久保綾房氏入船町三丁目九番地から東二條通り六十二番地へ
▲荻川郁男氏梅ヶ枝町四丁目十六番地岩崎方から梅ヶ枝町三丁目十番地竹內方へ

吉凶禍福

▲露月町二丁目四十號長瀨二郎氏長男良成さん一日出生
▲住吉町一丁目十八番地無料宿泊所新井祥作氏六日死亡
▲住所不定岡山縣人中島弘氏(當二十五年)三日新京醫院で死亡
▲日本橋通り七十九番地大島居武麿氏次男厚さん六日午後六時死亡

戀幻黒船往來

鈴木映畫上映及上演　寺島柾史（作）　布施長春（畫）

第百七十二回

決死の秋波（八）

扉の前で、ふたりの鋭い眼が交された。

愛慾に上氣した狼たちは、荒い息使ひをして、じり〳〵と進み寄つた。

『ロマン君、何用あつて闇夜中ごろこれへ參つたか』

ピコル少佐はまづ口を切つた。

『約束があつて千代どのを訪ねたのです』

典膳は事もなげに應じた。

『千代は、本官のものぢや。みだりにたづねることはならん』

『なるほど、みだりに他人の女をたづねると、あなたもそれを犯してゐられる』

『なに！』

『あなたは、わしの女お愛をおさめてゐられる』

『……』

『あなたは、わしに無斷でお愛の室を訪ねられたことが幾度もござらう』

『……』

『つまり、お互さまといふところですね』

典膳は、わらつた。

『いや、お互ではない。本官はまだお愛の貞潔の感觸を知らぬ』

『ところが、わしもまた、千代にゆるされてをらぬ。千代の寢室を襲はうとしたのは今宵がはじめてでござる』

『まこと、それにちがひないか』

『偽りをまうさぬ。千代は露アレキサンテンル號を函館港へ廻航する腕は、よろこんで肌をゆるす…と申してをりましたよ』

『ほう、同じことを君の女もいふてをつた。ハヽヽヽ』

ピコル少佐はてれ隱しに、理由もなく大仰にわらつた。

『ハヽヽヽ。これはお互に女から重大な條件をつけられましたな』

『かうなると、女を射るためにはまづ函館港へ廻航せずばなるまい』

『尤もでござる。そろ〳〵航海もあきまうした。すぐにも箱館へまゐつて、館にくつろいで新しい女でも味はひたいものでござる』

『本官もその意見ぢや。では、今宵の女あさりをやめて、いづれ箱館へまゐつてから、おたがひ女を交換しようかへヽヽヽ』

『ヘヽヽヽ』

ふたりの狼は敵視する心を巧に押拭つて、わけもなく高笑ひした。

『では、後刻お目に掛りませう』

『おう、失禮』

ふたりは、あつさりと別れてしまつた。

始終の樣子を寢室で息を殺してうかゞつてゐた千代は、ふたりの足音が消えると、俄に氣がゆるんで、ぽつたりそのまゝ敷物の上に

もし、ふたりの狼が、この室へ入つて來たなら、いや、扉を押つて入つてくる前に、第二の純潔を全うするために、千代は懐劍でおのが胸を一思ひに突いてゐたであらう。

彼女はそれほどまでに第二の純潔を失つたことを後悔し、同時に第二の純潔のために闘はうとしてゐたのだ。彼女の右手に握る懐劍は、すでに鞘が拂はれてゐた。

しばらくして、千代は、身を起こした。

もう、狼たちの襲ふ氣配もなかつた。これでこの一夜もまた第二のなつかしい純潔が保たれるのかとおもふと、何故か美しい兩眼に涙がおのづからたまつてきた。

最初の純潔は主君のため父のため失つたが、第二の純潔こそは、あの人のため、同藩のひそかにしたふ男のために、あくまでも保たねばならぬとおもふと、いよ〳〵悲壯な氣持になつてくる。

しかも、その、ひそかに戀慕ふ男が、同じこの黒船の船底に幽閉されてゐようとは、まつたく千代は知る由もなかつたのである。